



VOLUME

13

2017年
4月1日発行

連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院

JCHO Japan Community Health care Organization

糖尿病センター開設

糖尿病の地域連携推進します 【特色】…………… 04

理念・基本方針……………	02
地域医療連携センター長 ごあいさつ……………	03
小児外科診療（外科専門外来）開始しました……………	05
新人職員オリエンテーション……………	05

地域医療従事者への研修報告……………	06
入退院センター……………	07
市民健康医学講座……………	07
外来診療担当医一覧表……………	08



群馬中央病院の理念 4つの心

人権尊重の心 | 人間愛の心 | 奉仕の心 | 向上心

群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、
地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、
超高齢化社会における多様なニーズに応え、
安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、
地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

透明性が高く自主的な運営のもと、
常に医療・介護水準の向上に努める。

ごあいさつ

■ 副院長兼地域医療連携センター長

内藤 浩



ご挨拶

平成 29 年度最初の連携だよりをお届けさせていただきます。

地域包括ケアシステムの構築、それと連動した地域医療計画、病床機能分化など、医療・介護は今後大きくその姿を変えていきます。この中で地域医療を守っていくためには、地域連携がますます重要になってまいります。当院も、前橋市、そして群馬県の医療を支えていくために少しずつ機能を整備していく必要があり、昨年度は、地域包括ケア病棟、入退院センター、HCUなどを新たに開設いたしました。おかげさまでそれぞれ順調に稼働しており、地域医療のお役に立てていると自負しております。

今年度の新たな事業として、4月から糖尿病センターを開設いたしました。糖尿病患者が今後増加することは確実です。糖尿病センターは、この増え続ける糖尿病患者を地域の先生がたと一緒に診療していくことを目的としています。日頃の診療は登録医の先生がたにお願いし、管理が難しいとき、栄養指導が必要な時、インスリン導入が必要な時、眼科や循環器などの全身評価が必要な時などはセンターにご紹介いただき、治療方針が定まったら再び地域の先生方に治療をお願いする、そんなスタンスで運営してまいります。

今年度の新たな事業として、もう一つ、小児外科を開設いたしました。皆様ご存知のように、当院は伝統的に小児・周産期に力を入れてきました。小児外科に対するご要望も多くいただいておりますが、今回小児医療センターから山本英輝先生が赴任されたことにより、この分野にも対応することが可能となりました。小児疾患についてより幅の広い診療が可能となり、この面でも地域医療に貢献できると思います。

本日ご紹介したこと以外にも、今後多くの新しい事業を予定しており、次号以降改めてご報告させていただきます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

糖尿病センター開設しました(2017年4月1日より)

糖尿病の地域連携を推進します。

当院は本年4月1日より日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰとして認定を受け、糖尿病センターを開設致しました。

糖尿病センターは本館2階に位置し、眼科・歯科に隣接、検査も同階にて行います。通常の診察に加えて栄養指導、透析予防指導、フットケアやインスリン指導、自己血糖測定指導なども当センターで行います。医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、連携室、事務部門など多職種が、よりよい生活習慣のためのお手伝いをさせていただきます。糖尿病合併症の管理には、眼科、



歯科、循環器科をはじめとする各診療科と協力してすすめています。また約3ヶ月～1年毎に合併症予防のための特殊検査や指導を行います。

教育入院では患者様の事情に応じて2週間～3日の期間設定で、食事を含む生活習慣の改善を目指します。

当院が地域医療支援病院であることを踏まえ、患者さんが定期的に通院する、かかりつけ医の先生方と協力して治療を継続し、各先生方の糖尿病領域の診療のお役に立てるよう、ニーズに叶う対応を目指してまいります。栄養指導のみや心電図検査のみなどといったご依頼でも、どうぞ病院機能をご活用ください。

根岸真由美 糖尿病センター長

特色

- ・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰとして認定されております。(認定日：2017年4月1日)
- ・患者さんが定期的に通院する、かかりつけ医を持っていただき、近医の先生方と協力して治療を継続できるようにします。
- ・病院外来では約3ヵ月～1年毎に合併症予防のための特殊検査や指導(栄養、透析予防、フットケアなど)を担当します。
- ・入院では患者さんの状況を考慮した2週間～3日の期間設定で、食事を含む生活習慣の改善を目指します。
- ・当センターでは医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、連携室、事務部門など多職種が、よりよい生活習慣のためのお手伝いをさせていただきます。
- ・糖尿病合併症の予防や治療には、眼科、循環器科、歯科をはじめとする各診療科と協力してすすめています。
- ・栄養指導のみ、検査のみ等の予約もうけております。お気軽に地域医療連携室までご相談ください。

ご予約は、地域医療連携室まで

糖尿病センター、小児外科診療のお問い合わせは

受付時間
8:30～18:00
土・日・祝日は除く

TEL **027-223-1373** [直通]
FAX **027-223-1374** [直通]

小児外科診療(外科専門外来)開始しました(2017年4月1日より)

小児外科 医長 山本 英輝

皆様はじめまして。私は2017年4月より当院へ赴任してまいりました、小児外科医の山本英輝と申します。これまで獨協医科大学越谷病院小児外科や群馬県立小児医療センター外科に勤務し、小児外科医として様々な症例を経験してまいりました。

一般的に小児外科というと、皆様にはあまり馴染みのない診療科かもしれませんが、小児外科は産まれたばかりの新生児から、中学生までの患者さんを対象とする外科のひとつです。代表的な疾患は鼠径ヘルニア(脱腸)ですが、停留精巣や精系水腫といった泌尿器科的な疾患も対象としています。また、急性虫垂炎や腸重積症、鼠径ヘルニア嵌頓など緊急的な対応を要する疾患も扱います。新生児外科領域では、成人を対象とした一般外科と異なり、先天的な素因を有する疾患が多くを占めます。先天性横隔膜ヘルニア、食道閉鎖症、腸閉鎖症、腸回転異常症、直腸肛門奇形(鎖肛)、ヒルシュスプルング病などが代表的な疾患です。近年、胎児診断技術の進歩により、出生前に診断可能な疾患が増えてきております。これらは希少疾患であり、出生直後から集学的な治療が必要となることが多いため、群馬県内では群馬県立小児医療センターや群馬大学病院などの基幹病院で治療する必要があります。当院では、鼠径ヘルニアや便秘症、肛門周囲膿瘍などの、より日常的な小児外科疾患を中心に診療していきたいと考えております。また、小児外科領域では近年、漢方薬を使用した治療が増加してきており、これまでも治療に積極的に使用してまいりました。当院におきましても、積極的に治療に使用していきたいと考えております。

小児外科は中学生までの患者さんを対象とすると前述しましたが、実際には成人になっても小児外科に通院しなければならない方がいらっしゃることを皆様はご存じでしょうか?外科治療は、小児も成人も手術をしたら終わりというものではありません。もちろんそのような疾患もありますが、長期間にわたって経過をみていく必要がある疾患も少なくないのです。前任地の小児医療センターでも成人期に達した症例(transition 症例といいます)を診ておりましたが、入院加療が必要となった際に受け皿がなく、乳幼児の多い小児病棟へ入院していただいております。当院は成人を対象とした一般病床がございますので、当院で対応可能な症例に関しては診療していきたいと考えております。マンパワーの問題もあり、すべての小児外科疾患に対応できるわけではないのですが、まずはかかりつけ医の先生方にご活用いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



新入職員オリエンテーション

フレッシュなスタッフが仲間に加わりました!



平成29年度 新入職員オリエンテーション



H28 年度 地域医療従事者への研修報告

【地域連携カンファレンス】

平成 28 年度

開催日	担当	演題	出席者数	演者
1 平成28年4月19日	地域医療連携センター	地域包括ケア病棟の開設と今後の地域連携について	院外 49 院内 120	副院長兼地域医療連携センター長 内藤 浩
2 平成28年6月21日	婦人科	不育症の基礎と臨床 ～妊産婦の静脈血栓塞栓症の予防～	院外 50 院内 68	産婦人科主任部長兼リプロダクションセンター長 伊藤 理廣
3 平成28年7月19日	外科	消化器癌に対する化学療法について	院外 15 院内 65	外科部長 谷 賢実
4 平成28年9月20日	神経内科	認知症治療 up-to-date	院外 37 院内 80	群馬県認知症疾患医療センター 篠塚病院センター長 田中 眞
5 平成28年10月18日	放射線科	放射線科の上手な使い方	院外 10 院内 78	院長補佐兼放射線科主任部長 青木 純
6 平成28年11月15日	整形外科	人工関節置換術の成績～患者立脚型評価～	院外 10 院内 73	整形外科医長 畑山 和久
7 平成28年12月20日	内科	医療連携を活用した糖尿病治療の取り組み	院外 22 院内 63	糖尿病・内分泌内科部長 根岸 真由美
8 平成29年1月17日	小児科	身体的社会的ハイリスク親子への周産期の関わりから地域への連携 ～様々な問題を抱えた子ども達をどう支えていくか～	院外 19 院内 79	小児科部長 河野 美幸
9 平成29年3月21日	消化器内科	当院における最近の C 型肝炎治療と肝臓治療 切らずに治せる肝臓がん～DAA 時代のラジオ波治療の位置づけ～	院外 26 院内 63	消化器内科医長 田原 博貴 済生会新潟第二病院 消化器内科部長 石川 達
			院外 238 院内 689	合計 927

【地域包括ケア研究会】

平成 28 年度

開催日	テーマ	出席者数	演者
平成28年7月25日	急変時における介護施設から病院へのスムーズな連携 グループワーク	院外 31 院内 45	前橋市消防局 救急救命士 武尾 学
平成28年9月12日	胃瘻の適応と倫理について	院外 45 院内 61	群馬大学教育学部教授 吉野 浩之
		院外 76 院内 106	合計 182

【認知症研修会】

平成 28 年度

開催日	テーマ	出席者数	演者
平成28年7月11日	認知症ケア向上に向けての取り組み	74	認知症認定看護師 川岸 春代
平成28年10月17日	地域で考える認知症ケア	77	群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 作業療法専攻 准教授 山口 智晴
平成29年2月21日	認知症の人を理解するために～行動からその人の思いを知る～	45	認知症ケア研究所所長 日本認知症ケア学会 認定群馬認知症ケア専門士会会長 福島 富和

出席者合計 196

【学術講演会】

開催日	演題	出席者数	演者
平成28年11月30日	日常診療で耐性菌を増やさない適正な抗菌薬治療	83	長野県立須坂病院 呼吸器・感染症内科 感染制御部部長 信州大学医学部 臨床教授 山崎 善隆

【医療福祉学習会】

開催日	演題	出席者数	演者
平成28年8月31日	安心カードについて	198	前橋市社会福祉協議会 地域福祉課 宮原

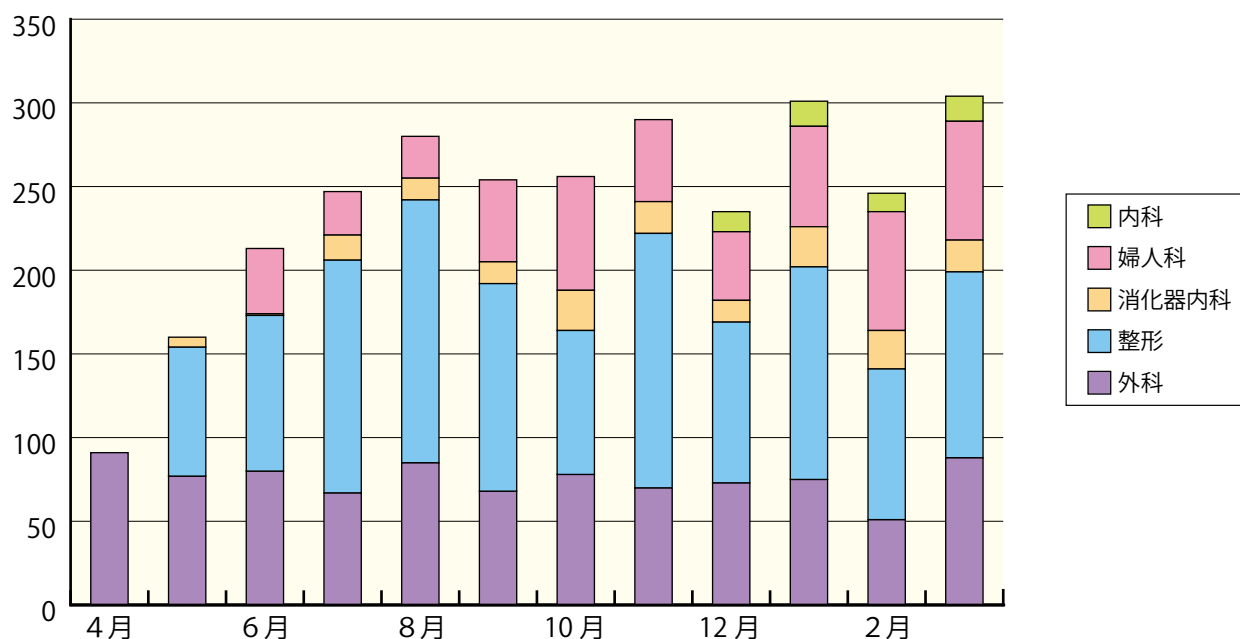


入退院センター

28年度4月に立ち上げ、稼動しております入退院センターですが、診療科・件数ともに介入件数も増え順調に稼動しています。

看護師だけでなく、薬剤部・栄養課・MSW・医事課・アメニティ等、多職種が連携し入院前の患者さんの不安や心配事を少しでも軽減できるよう、日々努力しています。

月別延べ患者介入件数



特徴

- ・ワンストップで入院の説明
(多職種連携により、処方チェック・栄養指導・術前リハビリ・医療費説明等)
- ・入院に関するさまざまな説明を入退院センターに集中
(入院案内・各種スクリーニング・検査説明、同意・パス説明等)
- ・老健を含めた退院調整、介護保険の申請準備
(入院前から退院支援準備)



市民健康医学講座を開催しました

開催場所 群馬県公社総合ビルホール

講師 JCHO 群馬中央病院 小児科部長 河野 美幸

開催日時 平成29年3月18日(土)14時～16時

演題 『食物アレルギーについて』

今回の市民健康医学講座は、小児科部長が講師ということもあり、参加していただいた市民の方は、比較的若い方が多い印象でした。みなさん、熱心にメモを取り、質問もたくさんでいていました。当日のアンケートの結果・ご意見を今後も参考にし、市民の方のニーズにあう、役立つ情報発信を今後も続けていきたいと思っています。



JCHO 群馬中央病院 外来診療担当医一覧表

受付時間：午前8時～午前11時（耳鼻咽喉科のみ、午前10時30分までの受付）、休診：土曜、日曜、祝日、年末年始（12/29～1/3）

平成29年4月10日現在

診療科・曜日			月	火	水	木	金
内 科	総合内科 (初 診)	午前	齋藤	北原(陽) 原田	今井	北原(陽)	佐藤
	一 般 (予 約)	午前	北原(陽)		北原(陽) 長谷川 田嶋(糖尿病)	今井 田嶋(糖尿病)	
		午後	今井(循環器) 田嶋(糖尿病)	北原(陽)(循環器)	今井(糖尿病)		北原(陽)(循環器) 田嶋(糖尿病)
	循環器内科 (予 約)	午前	羽鳥	羽鳥 大山		須賀	大山 須賀
		午後		須賀		大山	羽鳥
呼吸器(予約)		午後	北原(信)	蜂巢	山口	解良	解良
和漢診療科		午前	小暮 山本	小暮 原田	小暮	小暮 山本	小暮
		午後	小暮		小暮(リウマチ)	小暮	
神経内科(予 約)		午前	大沢				大沢
		午後	金子	大沢		柴田	
消化器内科	肝臓	午前(予約)			堀内		湯浅
	ESD・内視鏡	午前		岸			岸
	一般	午前	山田(大腸予約) 堀内	田原	林	湯浅 林(予約)	大館
午後(予約)		大館		田原		岡村	
糖尿病センター(予約)		午前	根岸	根岸			根岸
		午後		土岐(内分泌)		根岸	
小児科	一般	午前	田代 河野	田代 須永	河野 田中	田代 須永 水野	須永 田中
		午後(予約)	田中(専門)				
	神経発達 (予 約)	午前	須永		須永		
		午後	須永	須永	須永	井田(1・3・5)	須永 鈴木(1・3)
	アレルギー (予 約)	午前					水野
		午後	水野			水野	水野
	循環器(予約)	午後			田代(田中)	田代 田中	
	腎 臓(予約)	午後			小笠原		吉澤
	発達フォロー(予約)	午後	河野	河野	河野		
乳児健診(予約)	午後		橋本 佐藤				
予防注射(予約)	午後						
外 科	一般・ 消化器	午前	内藤 深澤 田部	調(肝・胆・脾)(紹介) 谷 山本 佐野	春日 平形 斎藤 田部 小峯 山本(小児外科)	内藤 深澤 小峯 福地 茂木(呼吸器) 長嶋(緩和ケア外科)	谷 斎藤 佐野 内藤(大腸)
		午後(予約)					
	乳腺・甲状腺 (紹 介)	午前	矢島				
		午後	藤井				
整形外科		午前	寺内 堤 中川 中島	寺内 堤 畑山 高瀬	中川 畑山 高瀬	堤 中川 中島	寺内 畑山 中島 高瀬
産婦人科	一 般	午前	伊藤 金井	伊藤(8:30~10:00) 勝俣(森田)	太田 田口	伊藤(不妊不育) 太田	伊藤 安部
		午後(予約)	太田(検査)	金井 手術	田口(産後) 安部(特殊)	伊藤(術前) 茂木(HSG)	太田(検査)
	妊婦健診	午前	勝俣(荒川)	安部	伊藤	勝俣(茂木)	田口
		午後(予約)	荒川			篠崎(ハイリスク)	荒川
眼 科		午前	前嶋	前嶋 花田	前嶋 花田	前嶋	前嶋
耳鼻咽喉科(予 約)		午前	内山 群大	内山	内山	内山(紹介)	内山
		午後	検査	内山(嚥下) 竹越	検査 塚田(第3週)		内山(嚥下)
麻酔科		午前	大川	川崎	富岡	高橋	富岡
皮膚科		午前	群大(第1・3週)	田村			
		午後(予約)					群大
泌尿器科		午前			羽鳥		
歯科(予 約)		午前・午後	平林	平林	平林	平林	平林

【ご案内】

①医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くようお願いいたします。

※詳細についてはホームページをご確認下さい。

②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。

- ・予約制外来 原則、午後は和漢診療科以外の診療科は予約制となっています。終日予約（神経内科、耳鼻咽喉科、歯科、禁煙外来）
- ・紹介型外来 乳腺・甲状腺（月曜日の午前・午後）、耳鼻咽喉科（木曜日の午前）、脳神経外科（火曜日の午後）、緩和ケア（精神科）（火曜・木曜日の午後）、皮膚科（金曜日の午後）

③その他

整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。

総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。

緩和ケア（精神科）は、他科からの紹介患者のみ外来診療を行っております。火曜日の午後 草野（毎週） 木曜日の午後 鈴木

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間
8:30～18:00
土・日・祝日は除く

TEL **027-223-1373** [直通]
FAX **027-223-1374** [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構



群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415

